# 令和４年度　１人１台端末の活用による実践事例

| | | | |
|---|---|---|---|
| 学 校 名 | 岡山県立倉敷青陵高等学校 | | |
| 実践者等 | ２年団教員 | 実践日 | 令和４年４月１８日 |
| 実践場面<br>（教科・科目（単元名）、学校行事等） | ロングホームルーム（２年生全員による百人一首大会） | | |
| 対象生徒（学年等） | 普通科２年 | | |
| 育成を目指す資質・能力 | ■知識・技能　■思考力・判断力・表現力等　□学びに向かう力・人間性等 | | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 分類 | 授 業 中 | □クラウドやアプリの活用 | □デジタルデータの保存 | □思考やデータの可視化 |
| | | ■データの共有や共同編集 | □対話を充実させる活用 | □思考を促す活用 |
| | | □表現を充実させる活用 | □課題のやり取りと評価の支援 | □効率化や省力化 |
| | | □その他（　　　　　） | | |
| | 家庭学習 | ■振り返り　□探究　□反転学習　□補習・定着 | | |

## 実践の内容

【授業】

（１）各教室で２年団教員全員が利用できるClassroom（２－１０）からmeetに参加し，各教室をつなぐ。meetの画面を各教室のプロジェクタに投影する。

（２）マイクとカメラはオンで，生徒の方にカメラを向ける。(実際は，ハウリングが起こったので各教室のマイクはオフとした。)

（３）各クラスのかるた委員が班分けや各クラスの運営を行う。学年主任が特別教室からmeetで指示し，各教室にいる教員が順番に各教室でカメラの前に立ち，マイクをオンにして札を読む。

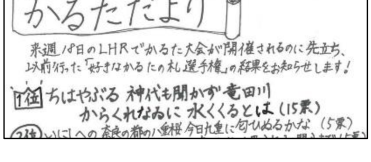
（４）最後に「百人一首大会結果入力シート」(スプレッドシート)を各クラスのClassroom（２－１～２－８）のストリームから学年主任がまとめて配信し，各クラスのかるた委員が結果を入力する。

（５）学年主任による結果発表と講評。

【本時と家庭学習との連動】

（本時前）

かるた委員の生徒が事前に「かるただより」を全生徒に配信する。



かるただより

来週18日のLHRでかるた大会が開催されるのに先立ち、以前行った「好きなかるたの札選手権」の結果をお知らせします！

1位 ちはやぶる 神代も聞かず竜田川 からくれなゐに 水くくるとは (15票)

2位 いにしへの 奈良の都の八重桜 今日九重に匂ひぬるかな (5票)

（本時後）

全生徒が百人一首大会結果を各クラスのClassroomから確認ができる。